

2024.1.24

No. 179



立科町 議会だより

光徳寺(古町)
二年参りの
竹あかり

目次

子ども議会 中学生初開催！	P2~3
町の未来を語ろう 議会報告&意見交換会	...	P4~5
議案審議報告	P6~7
常任委員会報告	P8~9
一般質問	P10~15
編集後記	P16

中学生 初開催！

10.25

子ども議会としては初めて中学生にも広げて開催
立科中学校2年生を迎え、代表たちから質問を受け、議員が答えました。

10月13日に中学校の多目的ルームで議会の仕組みを学び、10月25日には生徒たちが順次役場庁舎を訪れ、町長室や緊急情報を流す放送室、2階フロア、3階の会議室の見学を行い、4階の議会フロアでは、議場を映し出すモニターのある第2委員会室で議会の中の2つのカメラから映し出される本会議場中継の様子を見学しました。

その後議場に移動し、議長が「まず最初に議員の名前を呼びますので、手を上げて返事をしてください。」と一人一人生徒の名前を呼んだ後「ただ今から子ども議会を開会します。これより通告順に質問を許可します。」と子ども議会がスタートしました。



学習会の様子（中学校にて）



2年1組（議場にて）



2年2組（議場にて）



〈記念写真〉



2年1組



2年2組

子ども議会

中学2年生からの質問と議員の答えです。



立科町に人を呼び込むために、アニメや映画の舞台として誘致する事は考えていますか。

A 議会としても推進に寄与したいです。



中学生が愛川町へ行って交流やオレゴン市へのホームステイを再開していただきたいです。

A 愛川町への交流はご要望があったと伝えておきます。ホームステイは再開する予定です。



高校生の登下校時間に合わせて、上田行きのバスの本数を増やして欲しいです。

A 残念ながら町への要望は行いましたが、現状では考えないという事であります。



長岡製作所の交差点が危ないので、信号機を設置してほしいです。

A 信号機の設置は難しく、現場確認して何か良い策がないか努力いたします。



立科町に総合病院を建てて欲しいと思います。

A 人口が少なく病院を維持するための患者数が不足しているので病院を運営するにあたり経済的にも厳しいという事です。



ドッグランやアスレチック、バスケットボールやサッカーや野球等ができる大型公園が欲しい。

A それぞれの方が楽しめる様な環境の白樺高原エリアを是非とも大きく使っていただいて遊んでいただければありがたいと思います。



空き家の有効活用について、撤去するか、改修したり病院施設等、立科を活性化できるようなものを作れば良いと考えました。

A 空き家にならないよう、『是非住み続けたいっ!』と思えるような魅力的な町になる様に力を合わせて頑張りたい。



特産物を新たに作り、この町の良さをより深く伝えてみるのはどうですか。

A 今後も更に研究を重ね、取り組んでいくべきであり、効果的な発信を念頭に声をあげていきます。



誰もが気軽に使えるバスケットコートを整備して欲しい。

A 茂田井公民館の庭には町の補助金を使ってバスケットボールコートができています。



高校のバス通学について、通いやすくなるような工夫はされていますか。

A 佐久方面は佐久市と当町とで共同運行を千曲バスへ委託しており、上田方面は東信観光バスへ補助金を出して路線の確保をしております。



立科町にも駅を作り、電車（人と環境に優しいライトレール）を導入して欲しい。

A 採算性と現状のところでは私にはできないと思っており、代わりにバスの利用の利便性を上げる方が良いと思っております。



飲食チェーン店の誘致・建設を検討してみたいかがでしょうか。

A 人口が少ない地域では集客が厳しいという経済的な理由があり、立科町も人口が増えたら有名飲食店が出店してくれるかもしれません。



農家の方が少なくなっていき、使われなくなった畑や田んぼなどの土地は、どのように使っていくのですか。

A 農地以外に活用する手段もあるが、所有者がこの問題を真剣に考えなければいけないと思います。

素晴らしいご提言をありがとうございました。
いろんなことを教えていただきました。

町の未来を語るう

議会報告&意見交換会

令和5年

11月16日(木)	19:00～21:00	オンライン
11月17日(金)	14:00～16:00	女神湖体育館
	19:00～21:00	老人福祉センター
11月18日(土)	13:30～15:30	老人福祉センター

上記の日程で計4回、議会報告&意見交換会を開催しました。様々なご意見ご要望を抜粋、要約し、話題のジャンルごとに分けて掲載します。

お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。今後の議会活動に活かしてまいります。



地域公共交通について

- ・直通バスがなくなってしまった。観光業にとって大きな打撃で仕方なく従業員を解雇した。
- ・高齢者のスマイル交通費は無料にして欲しい。
- ・町内のスマイル交通、利用したことがない。子どもたちに学校の課外授業の一環として、スマイル交通の試乗体験を取り組んでみては。
- ・気軽に近隣の市町村へ行く交通手段が少ない。子どもたち自身で行動できる様にしたい。自発性が乏しくなる可能性がある。
- ・スマイル交通の利用方法のPR、お知らせをもっとして欲しい。
- ・タクシー補助制度の拡大をして欲しい。

観光

- ・山と里の連携が大切。また、広域との連携を図りたい。
- ・より良い別荘地、おしゃれな観光地にしたい。それには女神湖通りを何とかしなければ。
- ・山は、高級リゾートにしたいのか。ハイレベルを望んでいるのか。今までのお客を捨てて、新しい客層を入れて高級リゾートにしたいのか。現在、ファミリー層や若い世代の人が利用している。
- ・誘客をスキーヤーからキャンプ族へ。人気が高まってきているアウトドア（オートキャンプ、空中アスレチック等）に考えを変えましょう。
- ・観光地で花を植えて美化したいが、鹿に食べられてしまう。駆除を進めて欲しい。
- ・観光地の不法投棄が、全く改善しない。迷惑している。外観も悪くなるので困っている。
- ・ゴミの捨て場を県道沿いではなく、別の所にしたらどうかなどの意見が出ている。



農林業関連

- ・白樺の保全を80人程で行っているが、町民が6人しかない。移住者なので交流を深めて協力者を増やしたい。
- ・蓼科牛をさらに高いブランドにして欲しい。「たてしな屋が安く地元で卸す」とか工夫をして欲しい。立科米もそうだが、もっとアピールを。



子育て・教育について

- ・高校生の通学助成がない。山は子育てしにくくなっている。里も含めて助成して欲しい。
- ・たてしな教育で「生きる力を身につける」とはどういう事か。現場の先生方の受け止めがバラバラになっている。
- ・小中学校で、立科町の歴史を学ぶ授業を。立科町の歴史を学ぶ「昔の立科を知ろう」という事を学校の授業で取り組んで欲しい。
- ・インクルーシブ教育の取り組みを。町は、障害のある子ども一人ひとりにはとても手厚い。しかし、健常者との関わりがない状況。「共に学ぶ」に取り組んで欲しい。
- ・出産祝い金の支給は確かに喜ばれると思うが、現実問題として、今の時代子どもは一人しか産まない家庭が多い。昔は、二人三人と考えていたかもしれない。更に、不妊など子どもができない方、欲しくても一人しか産めない方にとっては不満があると思う。

移住定住・住宅・空き家など

- ・移住者を呼ぶことも大事だが、県外に出た子どもが帰って来なくなる町であって欲しい。
- ・空き家の情報を提供してもその後がどうなったか連絡がもらえない。
- ・移住の相談を受けるが、町側と情報を共有する場がなく、個人で相談に乗っている状況なので、町側も対応を考えてもらいたい。

その他・まちづくり等

- ・山の自然や施設と、里の農産物や施設とを上手に結び付けて町の活性化を図りたい。
- ・耕作放棄地、空き家、買い物弱者など、行政が何かの動きをしてくれないと何も前には進まない。
- ・中央公民館を建て替えるなら、施設内には、図書館、資料室、音楽ホール、多目的ホール、学習室など、人が集まる・行きたくなる建物に作って欲しい。
- ・やはり楽しい町じゃないと人は集まらない。
- ・当町の目指すものをしっかりと町民に伝えて欲しい。
- ・都会っぽくなって欲しくない。田舎の良さを無くさないで欲しい。

令和5年 第4回定例会

令和5年第4回定例会を12月4日から12月13日までの10日間の会期で開き、
条例や補正予算、財産の取得などについて審議を行い、いずれも原案どおり可決した。



◎全会一致で可決・承認 ○賛成多数で可決・承認

◇ 条例の一部改正 5件	結果
<p>一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定 長野県人事委員会勧告に基づき、賞与の支給月数を一般職・特別職・任期付き職員を0.10月、再任用職員を0.05月引上げ、会計年度任用職員に来年度から一般職に準じて賞与を支給できるようにし、併せて一般職・会計年度任用職員の給与月額を増額改定するもの。</p>	◎
<p>立科町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定 新たに附属機関として設置した観光振興推進会議と、既存の農業振興推進会議を追加するもの。</p>	◎
<p>特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定 観光振興推進会議と農業振興推進会議の委員に対する費用弁償の額を1日6,800円と定めるもの。</p>	◎
<p>立科町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定 令和6年1月1日より、出産する被保険者に係る保険税(均等割・所得割)を出産前後4か月分(多胎妊娠の場合は6か月分)免除するもの</p>	◎
<p>立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定 役場窓口印鑑登録証を持参しなくても、マイナンバーカードまたは電子証明書が搭載されたスマートフォンで印鑑登録証明書が交付できるように改正するもの。</p>	◎
◇ 補正予算 5件	結果
<p>令和5年度立科町一般会計補正予算(第7号) 6,360万7千円を追加し、予算の総額を59億9,511万1千円とするもの。 歳入では、町が行う自転車用ヘルメットの購入費補助の県補助金3万円、防災重点農業用ため池整備の計画調査の補助金790万円、御泉水自然園・白樺湖親水公園の遊歩道更新事業への補助金602万8千円、町内企業1社からの寄附金4,000万円(行政支援に3,000万円・教育振興に1,000万円)の計上など。 歳出では、自転車用ヘルメット購入費への補助金12万円、全額国の負担によりマイナンバーカードに振り仮名を表記するためのシステム改修費297万5千円、ブドウ栽培に係る新技術実証試験補助金198万5千円、真蒲池の地震耐性評価業務委託料869万円、レイクオフィス(女神湖センター)の本格運用に必要な施設管理など施設整備費135万8千円、今後整備予定の町営住宅に町産木材を確保・準備するための委託料1,000万円、教育費寄附金を適切に活用するため教育文化振興協議会への交付金1,000万円、体育センターステージの緞帳(どんちょう)幕の修繕費242万円の計上などの他、各事業の事業実績に伴う増減、給与改定による人件費及び関連する負担金の増額、蓼科クロスカントリーコース整備事業費として、2,000万円の債務負担行為の設定などが主なもの。 ※ヘルメット購入補助金 年齢を問わず、1名につき1回限り。令和5年4月1日以降に購入したヘルメット購入費用の2分の1を補助(上限は4,000円)</p>	○
<p>令和5年度立科町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 産前産後に係る保険税免除のためのシステム改修費、給与改定による人件費の増額など。</p>	◎
<p>令和5年度立科町介護保険特別会計補正予算(第2号) 介護報酬改定に伴うシステム改修費、給与改定による人件費の増額など。</p>	◎
<p>令和5年度立科町水道事業会計補正予算(第3号) 旧簡易水道施設の撤去費用・本管修繕費の増額など320万円、給与改定による人件費の増額など。</p>	◎
<p>令和5年度立科町下水道事業会計補正予算(第1号) 汚水排除量増加による諏訪湖流域下水道への負担金の増額270万円、給与改定による人件費の増額など。</p>	◎
◇ 財産の取得(4tパッカー車)	結果
	◎



◇ 討論

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定

★賛成 村田 桂子

県人事委員会勧告に従い提案された条例の骨子は

- ①給与の基礎額を正規・非正規を問わず、若年層に厚く、すべてにわたり引き上げること。
 - ②4月までさかのぼり遡及適用で支給されること。
 - ③期末手当の支給率の増加。(0.1月、0.05月)
 - ④会計年度任用職員については、今期給与の増率は見送られたが、来年度からは勤勉手当が増設され、一般職員と同率の賞与4.50月が支給されること。
- 改善点すべきこととして、
- ①任期付き職員や再任用職員などは期末手当の率が低い問題。
 - ②約半数を占める会計年度任用職員が退職金制度から除外されていること。
 - ③会計年度職員については、正規への登用の道を提供すること。すでに実績・人柄とも試され済みの職員も多い。正規職員への登用への道を積極的に開き、力を発揮してもらうことこそ町民益の増進につながる。
- 今条例は、大きな一歩であると歓迎する。

令和5年度立科町一般会計補正予算(第7号)

★賛成 村松 浩喜

全ての内容に賛成だが、次の3事業には意見がある。

- ①歳出増額：教職員住宅改修工事請負費750万2000円。次回、同様の事業を実施する場合、その企画内容と予算の確保には慎重に取り組むべきだ。しかし、空き家の可能性を考え、参加者がリフォーム技能を習得するなどの目的は果たせたので、今回は賛成する。
- ②歳出増額：観光施設管理経費135万8000円。女神湖センター内に整備した「レイクオフィス女神湖」は、運営方法や使用料の徴収方法などに課題がある。しかし、今回の予算の使い途は、来年度の本格運用に向けて必要な施設整備なので賛成する。
- ③債務負担行為：蓼科クロスカントリーコース整備事業費2000万円。立科町の自然環境を活かし、白樺高原でのスポーツを振興する事は、当町の活性化に寄与する。このコースは「標高1500mの準高地」「舗装されていない砂地」「ランナーの意欲を高める景色の良さ」などから、実業団や学校の陸上競技チームから高い評価を得ている。来年度6月頃の整備完了後には使用料の徴収を始めることも考え合わせて賛成する。

★反対 小野沢 常裕

蓼科クロスカントリーコースの整備に係る債務負担行為の設定について

現在のクロカンコースを維持していくだけでも、毎年春には必ず修理が必要。このような状況の中でコースの傾斜地を芝にすれば、さらに費用が増え、芝の特性を考えると、芝管理のキーパーを常駐させる必要も出てくる。クロカンは半年しか利用できない施設であって、しかも上下水道もなく仮設の汲み取りトイレと、シャワーもない更衣室。これが町の施設では本当に恥ずかしい。アスリートに利用を呼びかけるのは恥の上塗り。今までに何千万もかかっているかもしれないが、これ以上続ければますます出費が増えるだけ。今が決断のチャンス。ここで決断しないと何年も先までずるずると引きずっていくことになる。若い職員にはこんな所で無駄な努力をさせていないで、将来のためになる仕事をやらせてほしい。山の紅葉は黄色ばかり。赤が必要。楓の植樹を行っていく方が将来の観光に役立つ。「クロカンやめて、楓を植えよう」

各議員の賛否結果

議員名	秦野仁美	宮坂幸夫	小野沢常裕	今井健児	芝間教男	中村茂弘	村松浩喜	森澤文王	村田桂子	榎本真弓	今井英昭	今井清	議決結果
議案等の件名													
令和5年度立科町一般会計補正予算(第7号)	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

※「○」は賛成、「■」は反対 ※議長は今井 清議員は採決に加わりません。
※これ以外の案件等は、全会一致でした。

総務経済常任委員会

所 管 総務課・企画課・産業振興課・会計室・議会事務局
 委員長／今井健児 副委員長／村松浩喜
 委 員／今井英昭 村田桂子 中村茂弘 小野沢常裕

12月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑

令和5年度立科町一般会計
 補正予算(第7号)

教職員住宅改修費

Q 教職員住宅改修の増工費
 869万円は。

A DIYではできなかった部分
 を業者に依頼する。当初予算1200万円は、資材費・労務費の高騰で予算を使い切り、不足となった。業者に資材調達など監理も委託することにしたため追加する。

Q 当初と合わせると2千万円。一戸当たり1千万円の改修費となるが、高すぎるのではないか。

A 資材費・労務費が高騰しており、やむを得ないところがある。

Q 入札では2戸分、1200万で落札している。増工費の積み増しで、随契を認めざるを得なくなるこのやり方は問題ではないか。

A 契約手続きは問題なく進めていると考えている。

女神湖センターのレイクオフィスでの管理運営について

Q 施設管理と予約のできるシステム55万円と防犯カメラの設置67万1千円だが、どのように管理するのか。

A 指定管理者が専門会社により更に委託して管理することを考えている。

Q 指定管理会社からの納入金は売り上げの0.5%なのか。

A オフィスの使用料は指定管理者の収入とし、管理費を差し引いた分を納入してもらおう形にすると、町に入るお金は使用料の3、4割となる見込み。

Q 女神湖を望む絶好のロケーションでの仕事場を提供するレイクオフィス事業は町の大きな収入源。今回の設備導入で、管理上大きな負担はない。オフィス使用料は町が直接収納する形にすべきだが。

A 使用料もまだ決めていないので、運営の在り方や指定管理の納付金の在り方など、今後検討したい。

夢科クロスカントリーコース 整備にかかる債務負担行為

Q 本年度に支出がなく期間が2年度に亘っているのはなぜか。

A 2千万円を事業費の上限として本年度中に契約など準備し、来年度当初から工事ができるようにする。事業費は辺地債を起債する予定。

Q 1.5kmコースの傾斜のきつい部分に芝を張るといいますが、発案は誰か。

A 体育施設の専門業者よりアドバイスを受け、職員が考えた。寒さに強い野芝の種を肥料に混ぜて吹き付け方式で実証実験をしている。

Q 芝の管理は難しいが専門のキーパーはいるか。半年しか利用できない。管理ができるのか。

A 通常管理は職員が行う。

委員会行政視察報告 10月19日～20日

長野県 泰阜村

人口が1,488人、高齢化率42.2%の泰阜村。若者の移住増加で、高齢化率は横ばい。村に活気が戻っている泰阜村の施策を研修。

移住者向けの特別な制度はなく、住民が子育てしやすいように、暮らしやすいようにといろいろな制度を作っており、特に子育て世帯応援や空き家改修への8割補助などの実にきめ細かい支援制度があり、『ひとねる条例』に掲載。

ホームページも移住者目線で創られ村の暮らしがわかり、疑問に答えられるようデメリットも掲載。それがかえって信頼につながっているとのこと。実り多い研修であった。

愛知県 新城市

立科町と同様、森林資源に恵まれた新城市。間伐材を薪にしてボイラーで燃やし、隣接する温泉にお湯を供給している事業を研修に。

元地域おこし協力隊員が軸となって、事業者・森林所有者とよく協議し、ねらい通り成功している。

1. 山に切捨てられている未利用の間伐材を有効活用し、同時に森林整備を促進。 839t/年間



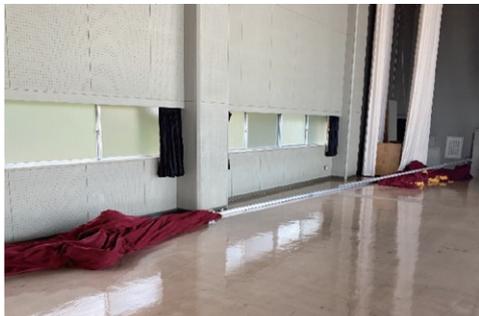
2. 化石燃料からの転換/重油での加温から、薪を燃やして加温し温泉に供給。燃料代の域外流出防止…地域循環型に。

3. 雇用の創出…持ち込まれた間伐材を薪にする会社と、ボイラーに薪を投入・メンテナンスを請け負う会社に委託し地元で仕事・雇用が生まれた。(いずれも民間事業者)

社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・建設環境課・教育委員会
 委員長／芝間教男 副委員長／秦野仁美
 委 員／榎本真弓・今井清・森澤文王・宮坂幸夫

12月8日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。



落下した緞帳（どんちょう）幕



令和5年度立科町一般会計
 補正予算（第7号）

- Q** 戸籍住民基本台帳費システム改修の内容は。
- A** コンビニ交付システムに振り仮名追加、証明書に振り仮名を印字するためのシステム改修委託。
- Q** 動物愛護管理推進事業経費の増額は。
- A** 猫の繁殖制限手術実施数が当初積算数を上回る事に伴う増額補正。

- Q** 水道施設撤去工事とは。
- A** 小規模建物撤去及び減圧槽等の安全対策。また、配水管修繕や老朽化した塩ビ管等への対応である。

立科町水道事業会計補正予算
 （第3号）

- Q** 地域包括支援センター経費の電算委託料増の内容は。
- A** 介護保険報酬改定等に伴うものである。

令和5年度立科町介護保険
 特別会計補正予算（第2号）

- Q** 教育委員会、体育センターステージ緞帳（どんちょう）幕修繕とは。
- A** 緞帳幕落下に伴う修繕等の増額補正。修繕後の取り付けはねじ釘でなく、両方を六角ボルトで強固に固定するものである。

- Q** 町営住宅建設事業費の町有林製材・保管等とは。
- A** 町営住宅建設で使用するカラマツ材は、雨境地籍の町有林で伐採を予定している。

委員会行政視察報告 11月8～9日

茨城県 つくば市

（目的）

- (1) 学校教育における先進的 ICT 教育の取り組み
 （視察所感）ICTによりそれぞれの個性を見極め、伸ばす教育によってICTという機器から心豊かな人間性を伸ばす教育も行なわれている事に感心した。
- (2) 小中一貫校の現状とその成果。また目標とするもの
 （視察所感）小中一貫校の学びの一貫性は、小中連携の体制よりも更に進化したものであると感じた。

茨城県 つくばみらい市

（目的）

一体化した子育て支援の取り組みの現状とその効果について
 （視察所感）つくばみらい市の「おやこまるまるサポートセンター」の一角に親子が遊びに来たいと思うようなあそび場もあり、気安く相談もできる先進的な取り組みがされ、また一体化した体制の取り組みに職員は仕事に誇りを持っていると感じた。



- Q** 諏訪湖流域下水道維持管理負担金の増額は。

令和5年度立科町下水道事業
 会計補正予算（第1号）

- A** 観光客の増加に伴い、汚水排水量も増えている事によるもの。

質問項目

今定例会では、議員 10 人が一般質問を行いました。

おのざわ ときひろ 小野沢 常裕 議員	11 ページ	立科町と農事組合法人蓼科農ん喜村との協定について
えのもと まゆみ 榎本 真弓 議員	11 ページ	1 難聴児の早期発見・早期療育の現状は 2 シビックプライドの醸成の考えは
むらた けいこ 村田 桂子 議員	12 ページ	1 自衛隊への名簿提供の中止を 2 教育における保護者負担の軽減を
しばま のりお 芝間 教男 議員	12 ページ	1 立科町の農業を守る 2 立科の教育の未来
もりさわ ふみお 森澤 文王 議員	13 ページ	1 子ども議会から質問 2 子ども議会から質問 3 QR コードなどの活用について
いまい ひであき 今井 英昭 議員	13 ページ	障害者福祉の現状と課題について
むらまつ ひろよし 村松 浩喜 議員	14 ページ	1 学校教育の現状と課題、今後の方針は 2 文化財の保護や活用の施策、今後の方針や計画は
はたの ひとみ 秦野 仁美 議員	14 ページ	1 中学校における部活動改革について 2 町の文化芸術振興について
いまい けんじ 今井 健児 議員	15 ページ	1 町民まつり「えんでこ」について 2 文化芸術振興について
みやさか ゆきお 宮坂 幸夫 議員	15 ページ	1 区長会を廃止して部落長を改め”地区長(仮名)と呼名を変えて地域活動交付金を現在の一世帯当たり(1140)を増額して一世帯当たり一万円に増額する。について 2 正・非正規職員の賃金格差の是正について、また、副町長席・2 期目の決意をお聞かせください 3 共同通信社が全国の自治体首長を対象に行った人口減少問題に関するアンケートで無回答(4 町村有り)について 4 先月に行われました商工祭で来賓に配られた 1000 円券(釣銭可)について 5 農業労働賃金(草刈り作業)について、また農業委員会とは 6 ”お豆腐のまち”立科町づくりと戸田宿日曜市場(冬季期間は休む)の開催を 7 4 月の選挙戦で 100 箇所の掲示板の設置に関する問題点及び次回への改善姿勢を 8 出口が閉ざされた水路、解消して。について 9 介護職員不足の対策として 10 教育委員会のチーム制について及び 3 歳以上の保育で町、独自の方法是 11 節目に町民向けに行事をしませんか 12 町道(836 号)の改良(舗装)工事について 13 夢の平展望台園地のその後について

※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

町政に
ついでに
質問！



一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。

農事組合法人蓼科農ん喜村との協定について

問 町や里の町民にとって道の駅はどのような存在か。

町長 町の活性化における中心的存在であり、都市住民との交流も深める憩いの場である。

問 町は、昨年度はどれくらい管理経費を支払ったのか。それは何に使われた経費か。

産業振興課長 トイレの光熱水費や清掃用具などの消耗品、清掃や警備保障の委託料などで172万9千533円支払っている。

問 第2駐車場は令和元年に指定管理者が農地転用の申請を出し、令和2年5月に駐車場を作ったが、現在は町長が地主と賃貸契約を結んでいる。なぜこうなったのか。

産業振興課長 指定管理者では恒久的な転用ができない。利用者の増加もあり、町が駐車場の整備が必要と判断して恒久転用の申請をした。

問 納付金は年度協定で売上高の0.5%になっている。昨年度の納付金はどれくらいか。
産業振興課長 76万8千円。



小野 常裕
おのの ときひろ

問 町営住宅の家賃で沢山納めている人は、年間どれくらいか。
建設環境課長 約132万円。

問 スキー場からの納付金は昨年度どれくらいか。
産業振興課長 2762万435円。施設の賃貸料も含まれている。

問 道の駅からは、なぜ使用料を徴収しないのか。
町長 スキー場は施設そのものを利用して収益を上げているが、道の駅は施設を利用して農産物を販売提供する施設なので使用料は徴収していない。

問 使用料を徴収するか、0.5%を引き上げるかしないと、世間の常識に合わないのではないかと、町長 施設改修後の状況を見ながら、指定管理者と協議をしていきたいと考えている。

問 令和8年度からは、納付金を5%にして、指定管理者を全国から公募したらどうか。
町長 生産者が安心して農産物を提供できる顔の見える方が良いと考えている。

結び 使用料を徴収するなど、町への納付金を増やして欲しい。次回またいろいろな質問します。



難聴児の早期発見・早期療育の現状は

問 2021年に始まった新生児聴覚検査は、義務ではなく保護者の同意が必要である。検査の必要性、保護者への周知の仕方などを伺う。

町長 発見しにくい新生児の難聴は、言葉の発達の遅れにより気づく。早期に発見・早期治療を行うことが重要。妊娠届けと同時に保護者へ周知を行っている。令和2年より検査費用助成事業を行っている。

町民課長 再検査となった場合は、保護者に寄り添い親身になって支えていく。里帰り出産時の検査費用については、住所地のある自治体へ問合せていただきたい。

シビックプライドの醸成の考えは

問 「シビックプライド」は、自身自身が地域の構成員であると自覚し、地域への誇りと愛着をもつてさらに良い場所にしていこうとする個人個人の意思が含まれている。まちづくりに欠かせないシビックプライドの認識、必要性、その醸成についての考えを伺う。

町長 シビックプライドの認識が高まることで、当事者意識が高まり自分自身で良いものにしていこうとする活気あるまちづくりになる。立科町町民憲章や協働のまちづくりにも通ずるものと考ええる。転出抑制・移住者を引き寄せるなど、有意義な考えである。

問 情報の発信は重要である。自ら行う考えは。
町長 町長としての情報発信は、公式の町提供の情報と捉えている。

問 まちづくりは全町民が核になる。醸成のためにどうあるべきか。
町長 当たり前前になっていることが魅力であり、再認識する必要がある。町民が誇りを持てるよう発信していきたい。

副町長 職員の一人ひとりの意欲と能力が最大限に発揮できるよう、思いを伝え職員研修にも加えていきたい。



榎本 真弓
えのもと まゆみ





村田 桂子
むらた けいこ

自衛隊への名簿提供止めよ
法令に基づき提供する

問 自衛隊へ若者名簿を本人に断りもなく提供していると聞く。安倍政権時に自衛隊法が変えられ、同盟国の引き起こす戦争に「後方支援」という名で、巻き込まれる危険性が増した。適齢期の青年の名簿を提供することは積極的に「戦争する国づくり」に加担することにつながるという認識はあるか。

町長 国策に関わることには答弁を控える。自衛隊は台風19号などの被災地支援で大きな役割を果たしており、その募集に協力するのは大事と考える。

問 名簿提供の実際はどのような様子か。

総務課長 ①名簿提供は文書の保存期間から2年前までしか判らないが、少なくとも両角町長以前から行われていたこと。

②令和5年3月31日受付「自衛隊長野地方協力本部長名で令和5年3月6日付けの自衛官・自衛官候補生の募集に係る名簿

各部道府県市区町村担当部長 殿
(市区町村担当課長様)

防衛省人事教育局人材育成課長
総務省自治行政局住民制度課長
(公印省略)

自衛官又は自衛官候補生の募集事務に関する資料の提出について (通知)

令和2年の地方分権改革に関する提案募集において、自衛官又は自衛官候補生の募集に関する事務について「住民基本台帳の一部の写し」(住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第11条第1項に規定する住民基本台帳の一部の写しをいう。以下同じ。)を国に提出できることの明確化について提案があり、別添の通り「令和2年の地方からの提案等に関する対応方針」が令和2年12月18日に閣議決定されました。

この住民基本台帳の一部の写しの国への提出については、自衛隊法(昭和29年法律第165号)第97条第1項及び自衛隊法施行令(昭和29年政令第179号)第120条に基づき、現行においても実施可能であるところですが、改めて下記のとおり通知します。

つきましては、貴職におかれましては、この旨を貴部道府県内の市区町村に周知いただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第245条の4第1項に基づく技術的助言であることを申し添えます。

記

- 1 自衛官及び自衛官候補生の募集に関し必要となる情報(氏名、住所、生年月日及び性別をいう。)に関する資料の提出は、自衛隊法第97条第1項に基づく市区町村長の行う自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務として自衛隊法施行令第120条の規定に基づき、防衛大臣が市区町村の長に対し求めることができること。
- 2 上記の規定の募集に関し必要な資料として、住民基本台帳の一部の写しを用いることについて、住民基本台帳法上、特段の問題を生ずるものではないこと。

通達の「技術的助言」「求めることができる」は依頼に過ぎず、強制力はない。

提供の要請文書が送付されたこと。

③平成17年4月1日〜平成18年3月31日までの青年の名簿(名前、生年月日、性別、住所)の4情報

④令和5年度は55名、文書で提供

問 要請は強制ではない。名簿提供を断り閲覧許可に戻すべきである。本人に断りもなく提供するのは憲法違反だ。対象者一人ひとりに情報提供の是非を問うべきである。また、自衛隊に対し、「情報取り扱いについての協定」を結ぶべきだが。

町長 現在、希望しない者の名簿除外の方法を検討中である。個人情報情報は慎重に取り扱わなくてはならない。

結び 対象者一人一人にきちんと知らせその意思を確認しなければ、名簿提供はすべきでない。中止を求める。



芝間 教男
しばま のりお

立科町の農業を守る

問 農業が継続し続けることができる支援は。

町長 「第2期立科町農業振興ビジョン」を農業者・農業団体・行政が一体となって積極的に推進する必要がある。

幅広い意見を取り入れ、積極的に農地の保全活動に取り組んで行きたい。

問 果樹農家、凍霜被害等に防除散布経費への補助状況は。

産業振興課長 被害が確認できた生産者94名に補助金の交付申請用紙を送付し、申請者へ随時手続きをしている。受付は1月31日まで。

問 収入の大幅減収入となった農業生産者への支援対策について。

産業振興課長 国の支援金により令和3年度はあったが、本年はない。要望の寒冷紗については検討する。

問 農業が継続し続けることができる町に。

産業振興課長 小規模・家族農家も多様な経営体として重要であり、農業農村支援センター・JAとも協力し付加価値化や反収の高い作物栽培の

推進を図る。

「たてしな屋」の活動は、そば・落花生などの生産を進めている。一度に複数進めるといいうのは難しいので一歩一歩進めている。

地域と連携しながら進めてゆく。

問 鳥獣対策について

産業振興課長 猟友会員の減少により鹿の捕獲数は減少。新規会員募集に努める。有害鳥獣駆除期間は11月15日〜2月15日

猿は、本年度古町地区から雨境地区にかけて出没。本年度檻の設置等で20頭の捕獲許可を得ている。

熊の出没は、八ヶ野地籍において何度か目撃情報が寄せられている。住民の生活圏への出没の心配から、食べ物となる物を放置しないなど、一層の啓発に努めて行きたい。



放置リンゴなどは鳥獣を呼び寄せてしまう



森澤 文王
もりさわ ぶんみ

企画課長 将来的なタブレット端末の更新時に可能な方には、スマートフォンの「たてしなび」では、ダウンロードした広報から直接電話が掛けられるなど便利に出来ている。活用を考えるべきではないか。

町長 広報たてしなびでは、関係するウェブページ、講演会の参加申し込み等については長野電子申請サービスの申し込みフォーム等に直接伝える等、各職員が町民の皆さんの利便性の向上を意識してQRコードを活用している。必要に応じて町の配布物に掲載し活用する事を推進していきたいと考えているが、スマートフォン等を持っていない方にも配慮が必要と考えている。

問 委員会の視察で、つくばみらい市に伺ったところ、パンフレット等の配布物に印刷されたQRコードが非常に使いやすかったのであった。当町でも行うべきではないか。

QRコードなどの活用について

スマートフォン等に切り替えて頂くようお願いをする予定。両方とも同じシステムなので極端なシステム変更は出来ないが、アプリの利便性を高める方法も研究していきたい。

問 消防団の管理している小型ポンプの整備方法などをQRコードから動画を見られるようにして、活動を助ける考えは。

町長 消防団員の人員の確保は、全国的な課題と捉え、様々な処遇改善策や負担の軽減に努めているところである。このような背景から、QRコードを活用については、前向きな検討をしたいと考えている。



955件のユーザー。(11/22 現在)

障害者福祉の現状と課題について

問 障害の有無に関係なく安心して住める町づくりの基本的な考えは。

町長 第8次立科町障がい者福祉計画・第6期立科町障がい福祉計画・第2期立科町障がい児福祉計画の「基本理念」に掲載されているとおり。

問 現在の障がい者福祉計画等は、計画どおり取り組まれているか。

町民課長 コロナ禍などの特殊事情により停滞を余儀なくされた面もあるが、計画に沿って取り組んでいると考えている。

問 「社会のあらゆる場面における利便性の向上」の中でICTをはじめとする新たな技術の利活用について検討を行うとあるが、具体的には。

町民課長 国・県が実施主体の事業はあるが、独自に現時点で具体的に検討しているものはない。



今井 英昭
いまい ひであき

問 来年度からの次期計画において町独自の新たな取り組みは。

町民課長 現在、策定懇話会の意見を踏まえて検討しているところで、現時点では答弁を差し控えたい。

問 65歳になると「障害者福祉サービス」から「介護保険サービス」へ移行することにより、利用者が不便になることが心配されるが、町の考えは。

町民課長 利用者の利便性を考慮した上で対応していきたい。

問 住居移転の自由の観点から、地域生活の移行の目標設定が問題だと思うが、この点について町の考えは。

町民課長 より良い支援を行い、個別に対応していくため、一律に目標数値のみを追うことはない。

問 児童発達支援センターの設置など広域での整備状況と町単独での児童発達支援センターの整備の予定は。

町民課長 町単独での対応は現在考えてない。

(障がい者と障害者の表記について…町の計画書は「障がい者」のためこの表記としています)



第8次立科町障がい者福祉計画・第6期立科町障がい福祉計画・第2期立科町障がい児福祉計画



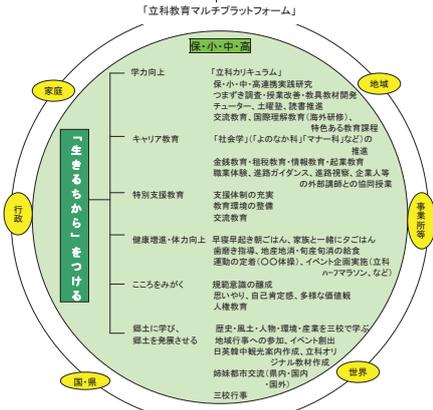
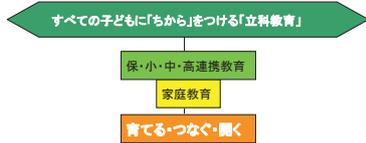
村松 浩喜
むらまつ ひろよし

学校教育の現状と課題、今後の方針

問 ①「立科教育」の意義をどのように捉えているか。②今後どのような方針で学校教育施策に取り組むか。

町長 ①立科教育の目標は、すべての子どもに生きる力をつけることだ。保育園、小・中学校、高校が連携しながら、次代を担う子どもたちの育成を図る。②町長と教育委員会が課題や目指す姿勢等を共有し、効果的に教育行政を推進している。町独自に小学校の30人規模学級を開始する等、教育課題に取り組んでいる。

問 蓼科高校を存続させるための施策は。教育長 通学バスの運行、数学教員の派遣、公設学習塾の運営などを支援している。県の高校募集定員の是正を要求した。来年度の定員は見直されたので、蓼科高校希望者の増加を期待する。



立科教育の概念図

問 小・中学校における学力向上を目指す取り組みの成果は。教育次長 算数・数学の担当教員各1名を町費で加配している。中学生全国学力・学習状況調査での数学の平均正答率は、全国や長野県より高い。オレゴン市ALITの指導などにより、英語の平均正答率も高い。

問 保育園運営の自己評価は。保育園長 保育士主導ではなく、子ども主体の保育に努めている。公開保育での外部評価は高い。参加型保育での保護者の感想も好意的だ。

文化財の保護や活用の施策など。問 文化財を保護、分類し有効活用するために、学芸員資格を持つ職員が必要では。副町長 必要だと認識している。

中学校における部活動改革について



秦野 仁美
はたの ひとみ

「部活動の地域移行」とは、これまで中学校の教員が担ってきた部活動の指導を地域のクラブ・団体などに移行すること。

問 今後の地域移行への取組みと現状について。教育長 国及び県からの方針、そして近隣の取組みや情報を収集しながら、検討していく。

問 外部指導員の現在の状況と今後の展開について。教育次長 現在、立科中学校には7人の外部指導者が在籍。ボランティア・無報酬で指導されているが、今後、近隣市町村の動向を見ながら進めていきたい。

問 地域移行完了後、町はどう関わっていくのか。教育次長 国と県の方針を見ながら、近隣の市町村と同様、協議会を設立し、支援を行っていききたい。

町の文化芸術振興について

問 中央公民館及び複合施設のビジョンと進捗状況について

町長 こころ豊かな暮らしを実現していく為には、子どもから高齢者まで、気楽に集えて、そして催しが開け、夢のある施設になっていけば良いと思いがあ。今後、町民の皆様の意見も頂きながら、研究検討を進めていきたい。

問 子ども議会から出た要望。アニメなどの舞台を立科町に誘致する事で、聖地巡礼になり、又、Eスポーツ大会を山で開催すれば、町外から多くの人が訪れ、町に活気が出るのではないかと。

産業振興課長 聖地巡礼は地域の歴史や文化にも触れる事ができ、地元では知り得ない新たな資源の発掘にも期待できるので、町作りのスタイルとして、参考にした。Eスポーツは、自然の中でのアクティビティがストレスの軽減や健康増進に寄与する事から、自然との調和は重要であり、ワーケーションと類似した効果があり、町のデジタル化の推進と併せ、研究を進めていきたい。



Eスポーツ大会

第6回臨時議会

10月10日に開催

工事請負契約の締結について2件を可決した。

○令和5年度道路メンテナンス事業

下村橋橋梁長寿命化修繕工事

契約の相手方 株式会社 小宮山土木

○令和5年度ホテルグランビュー蓼科

解体撤去工事

契約の相手方 株式会社 小宮山土木

第7回臨時議会

12月21日に開催

令和5年度立科町

一般会計補正予算(第8号)

国の臨時交付金により、令和5年度住民税均等割が非課税世帯に1世帯7万円を支給する事業費に5,600万円を計上。

その他、負担付き寄附の受納についてと奨学基金条例の制定を可決した。

表紙写真

〔光徳寺(古町)二年参りの竹あかり〕



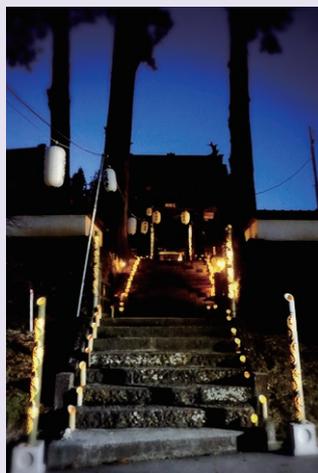
みずき 瑞樹さん(野方)

今回、光徳寺をはじめ護寺会のご協力により「竹あかり」を灯させていただきました。

この活動は私が「たてしな竹取物語」という、芦田城周辺や地域の竹害による環境整備で出た竹などを使って、有効活用や町の活性化を目的に行う活動です。

現在、ワークショップや小学校への課外授業他、イベントと合わせた活動を色々な方の協力をいただきながら行っています。

天然の素材でつくる温もりのある優しい灯りが、訪れた皆様にも少しでも喜んでいただけたなら幸いです。



議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。



議会ホームページ

発行/長野県立科町議会

編集/議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL (0267) 88-8413 有線2311 FAX (0267) 56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <https://www.town.tateshina.nagano.jp>

編集後記

新年を迎え、2024年のスタートを切りました。引き続き町の発展と町民皆様の福祉向上に取り組みにあたり、より加速化していく社会の変革に対応しながらも、振り回されず、この町のキャッチフレーズ「人と自然が輝く町」を合い言葉に、様々な分野の施策の充実に取り組んでまいります。

今年辰年。新しい始まりや成功を象徴する、十二支でも特別な意味を持つ年との事です。

皆様にとっても特別な年になりますように…。

今井 健児

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

村田桂子
小野沢常裕
森澤文王
芝間教男
今井健児
宮坂幸夫
秦野仁美